





武 467 卷 3

古方翼中冊

攝陽 野間友真淡御 述 門人筆記



○臟腑虚弱ニシテ気血オトロヘタル人胃ノ気乏シキ折節  
 暴ニ寒冷ノ飲食ヲ用ヒテ乏シキ胃ノ気ヲソコナフ故ニ頓  
 ニ胃氣断絶シテ三焦ニモリヲ失フ故ニ上吐シ下泻シ榮衛  
 流通セス故ニ一時半時ノ間ニヤセ目陷リ面ノ色ス、ケ黒  
 ク脈必微沈ナリ吐泻甚シク脈伏シテ腹痛セハ熱湯ニ手巾  
 ラ濡シ臍ノ下元氣ノ在肝ヲ温ムヘシ○霍乱ハ快ク吐スレ  
 ハ治シ易シ胃ノ氣發生シ陰陽升降ノ氣出来テ乾霍乱ノ所  
 ラノガレ榮衛モ運行ス故ニ療治シヤスシ○乾霍乱ト云ハ

古方翼中冊 ○タシテ



中焦ノ気ハナハタ寒スルユヘ消シカタク生冷ノ飲食ヲ多ク食シテ消セス其マ、中焦ニ否エテ上下升降ノ改俄ニ絶シテ吐逆セント欲スレドモ吐逆セス頻ニ圖ヘ行トモ泻セサレハ一大事ナリ燒鹽ヲ濃ク入レタル湯ヲ多ク飲セテ鳥ノ羽ニテ咽喉ヲ探リテ必ス吐逆スルナリ後温中既濟湯ノ類ヲアタフベシモシ病勢甚シク手足逆冷シ既ニ絶入セハ臍中ヘシホヲ押入テ其上ニ灸ヲ十壯廿壯スベシ臍下一寸五分ヲモ灸セヨ

○温中既濟湯

乾 圭 木 伏 陳 姜

○轉筋ノ甚シキハ血行ス筋潤ハサル所以ナリ○水ヲ飲テ吐スルモノ仲景コレヲ水逆ト名ツク五苓散○モシ轉筋甚

シクシテ手足ノ指スクミ伸屈ミナラスハ足ノ外ノ踝ノ正中ヲ七壯灸セヨ○霍乱ヲ治シテ二日三日ノ間ハ食事ヲ多クスヘカラス少ツ、用ユヘシ○霍乱ハ灸スルコト早クスベシ指頭ニテ血ヲ取モヨシ○吐逆シケクハ熱湯ニテ臍下ヲ温メアラフヘシ○霍乱轉筋手ノ掌ノ後腕ノ横紋中兩筋ノ間陷ナル處ニ灸七壯シテヨシ又足ノ外踝中央横ニ陷ナルトコロニ七壯シテヨシ或ハ外踝ノ尖ノ上三寸ニ刺テ血ヲ取湧泉ニ三七壯灸シテ妙ナリ

○五苓散

猪苓 澤泻 各一錢 白朮 茯苓 各一錢半 肉桂 五分

右水煎

○頭痛

○ツツツ



○平生持病ニアラ子トモ風ヲ冒シ寒ニ中リ暑ニ犯サレ果  
ニ甚タ頭ノ痛ムラ頭痛トス外邪トナシテ邪ヲ驅散セヨ頭  
痛ハ止ムナリ芩芷蠲痛湯脈緊項強ク風ヲ惡ムモノ太陽ノ  
經ニアル頭痛ヲ治ス

芎 独 香 脈弦細ニシテ頭痛シ耳ノ邊リ頭痛  
シ風寒ヲ惡ミ或ハ寒熱往來スルモノ少陽經トス

芷 前 香 脈浮緩ニシテ長目痛ミ鼻乾キ發熱  
シ頭ノ上ノ痛ムハ陽明痛ナリ發散シテヨシ

○宿病ニ頭痛アル人氣ヲ苦シメ胸中ニ氣否テ痰ヲ生シ其  
痰逆上シテ疼ムモノアリコレ水飲ノ逆スルモノナリ降飲  
湯

枳 莎 半 枳 陳

○天クモリ或ハ雨風ニ必ス頭重ク痛ミ氣快カラサルノ氣  
ヲ順ラスヘシ

橘 芩 辛 附 羌 柴 當 半

○頭ハ諸陽アツマリ發スル所ナリ表氣塞ルコトナクシテ  
陽氣發生スレバ頭痛ノスルト云コトハナシ發生ヲ塞ク故  
ニ頭痛スルナリフケノ白雪ノコトク出ルモノハ必ス頭痛  
セヌモノナリ陽氣發スル故ナリ○頭痛ニイロクアリ梅瘡  
ヲ病タル人輕糝茶ヲ多ク飲下シテ茶カ頭ヘ弁リ痛ミ筋骨  
ヘカラマリ脚氣ノヤウニ病モアリコレハ瘡毒門ニ出スナ  
リ

○頭痛一切ヲ治スル秘灸 病人ノ兩足ヲナラヘテナワラ  
用テ兩足ノカコミヲ量リ取テ其ナワヲ以テ又下口ビルノ



赤白肉ノ際ヲ引テロワキノ廣サラクラベテ切去リノコル  
所ノ繩ノ中央ヲ病者ノ結喉ノ尖ニ當テ背ヘ引タレ繩ノ兩  
頭ヲソコヘテ脊中ニ引下シナワノ頭ノ盡ル所ニ点スコレ  
ハ灸穴ニアラス又別ニ繩ヲ以テ又右ノ如クニ病者ノ下唇  
ノ赤白肉ノ際ヲ引テ兩吻ノ廣サヲ量リ取テコノ繩ヲニツ  
ニ折テ上ノナワノハシヲ右ノ脊中ノ点ニ加ヘテ左右繩ノ  
下端ノ尽ル処ニ灸点ス左右各ニ壯ス

○血ノ痛頭痛アリ血分ニ苦 圭ヲ加ヘ用ヒテヨシ  
○勞瘵 附 虚損

○夫勞瘵ノ生スルコト種々ノ因アリ或ハ男女ニヨラス氣  
ヲツクシ心ヲ苦シメ榮血滯リ乾テ漸ク肉瘦テ脈虚數ナリ  
男ナレハ面ノ色青ク何トヤラ心ヨカラズ女ナレハ稍々ニ

月事ホソクシテ後ニハ留リ胸ノ中虚煩シ手足時ニ熱シ上  
氣シホウサキ赤クナルナリ以上男ハ宝丹女ハ不極丹或ハ  
大黃車虫丹ニテ血ヲ下セハ榮血メクリテ病愈ユ○婦人ノ  
勞ハ治シ易シ男ハ治スルコトムツカシ、骨蒸ノ熱ヲ去イロ  
ク方アレトモマコレノ瘧ハ必死ナリ、キレモノ有テタマ  
ク治スルコトアリ○勞瘵ト見ツケルト今ノ医灸スルコト  
經俞ヲワケスメツタムシヤウニヤクイヨク榮血カハキテ  
不治ノ瘧トナルナリ勞病ニ灸スルコトハ當流口傳ヲ以テ  
スルコトナリ古方ニ脊瘵トテ骨ヲセリハサミ灸スルコト  
アリコレモ阿是穴ナリニ三行トハチカフコトナリ○二十  
ノ前後房事ヲ過シテ腎水虚耗シニハカニ瘦テ手足細ク腰  
痛ニ夜中小便シケク腰弱クシテ勞ニナルモノアリ二分ニ



地骨 門冬 藥ヲ加ヘテ用ユ或ハ建中湯ヲアメニテ煉茶ニシ用テヨシ

○勞咳ト云モノサマク茶ヲ用ヒテモトマラヌモノソ痰血ヲ見レハ灸セヌカヨシ痰血ナケレハ灸シテ咳ヲトメヨ○風勞ト云モノアリ初メ風ヲ冒キ熱サメソコナヒ咳ナカヒキ寒熱往來スルモノ風勞ナリ小青龍湯ヲ用テ寒邪ヲ去テヨシ○勞瘵ト云モノハ心肺ノ間ニ毒アリテ初メハ何トナク氣重クフラクトヤミ盜汗アルモアリ肌熱ツヨク早ク肌熱ヲトラサレハ骨蒸ノ熱ニナツテハ治セヌ後ニハ咳血トナリ声ヲ閉大便シマリワルクナレハ死ニ近ツクトコロエヨ○虛勞ノモノハ二分ニ乾姜 味 門 厄 葛撰加ヘテ治セヨ虚勞發熱肌肉弱ク不食シ膿血ヲ吐キ乾

クモノ順永湯

吉 葛 柴 芍 芎 藁 知 肉 桑 夏 地

伏 柴 艸 知 肉 桑 夏 地

○勞瘵ニ人參ヲ用レハ甚イタミ死ニチカヨルモノゾ

○秘灸セナカ一骨ヨリカメノ尾マテ寸ヲトリニツニ折一

骨ニアテツクトコロニ灸年ノ數ホトスベシ○同セナカ三

ノ推骨上一日七壯毎日灸シテ五十壯ス○傳尸病秘灸男左

女右乳ノワキ一寸一日ニ七壯毎日灸スルコト五日○傳

尸病骨蒸者

干 柴 吉 竹 膏 赤 豆

門 冬 艸 竹 膏 赤 豆

○産勞ノモノ産門ニ出ス婦人ノ勞ハ瘀血ニテ心肺ヲセ



ムルモノ咳血出テ勞ニマキレルモノ多シ不極丸煎湯ニ兼  
 用シテヨシ○傳屍勞ハ癆瘵ノ中ノ一證ナリ三尸蟲トテ人  
 ノ臟腑ヲ食フ其ナリ癆ヲ一人病ソレヨリ一家ノ親類ニ傳  
 染シテ悉ク死スル症ナリ獺爪ヲ粉ニシテ酒ニテ服スレハ  
 愈○勞ヲ治スルウナキ一條一斤ノ重サアルモノ古キ壺ニ  
 入レ泥ニテ壺ノ口ヲ塗封シ固メ火ニ炙リウチ碎キ肉ノ白  
 キ処并ニウナキノ灰ヲ取研末ニシテ米飲ニテニヒホト宛  
 用テヨシ○骨蒸勞熱 地骨皮一兩 小青艸三枚  
 六月霜五枚 胡黃連一匁 柴胡二匁 薏苡仁三匁  
 雞トツ腸ヲ去リ洗淨シテ右ノ菜ヲ腹ノ内へ入レ線  
 ニテ縫酒ト水ト等分ニ合セ雞ノ肉丸ナカラ煮テヨク  
 熟シタルトキ酒ニテ雞肉ヲ咬フヘシ其骨ハ炒燥シ右

ノ菜ト共ニ細末ニシテ煉蜜ニテ桐子ノ大サニ丸ジ毎  
 日巳ノ時申ノ時ニ三々ツ、白湯ニテ服ス  
 ○一切虚損ノモノ黄精狗杞子丸ヨシ 不寐トテ夜寐ラレ  
 ガルハ病後虚弱ナリ 参 乳 殊 各一兩 酸炒四兩  
 蜜ニテコレホトニ丸ジ龍眼肉煎ニテ用テヨシ  
 ○吐血總論人身ノ血ハ水ノ地中ヲ行カ如シ百川ニナラサ  
 ムルトキハ水壅逆ノ患ナシ一身分榮衛調ヲ失シ七情四氣相  
 干シ氣血逆乱スルコトヲ致シ變ジテ吐血咳血ノ諸症ヲ生  
 ス又血ノ妄行ハモトヨリ積熱ノ致ストコロニヨルシカレ  
 トモ其症多端ナリ飲食ノ過ルニヨリ又重キ物ヲ負テ胃ヲ  
 傷リ吐血スルモノアリマツ熱ト見ルカ大綱ナリ○脉沈細



ハヨシ浮数ニヨロシカラス血ヲ吐テ咳セサルハ治シ易シ  
ツバキノ中ニ紅絲ノ如クナルヲ交ルモノハ治シカタシ  
○止血方 蒲黄 生地黄 各一兩 右水ニ碗入ハハ分一  
煎シ食後ニ服ス口訣ニ曰ハスノ子フシ七枚搗テ汁ヲ  
取リ煎茶ニ入ヨ  
○凡血ノ外へ溢ルハミナ熱ナリ大寒劑ニ生地黄大ニ加  
ヘテ効アリ吐血衄血絶ント欲スルモノハ 角粉 人參  
煎湯ニテ用テヨシ虛弱ノ人ノ吐血ハ二分ニ 麦内 阿膠  
ヲ加ヘテヨシ痔ニテ下血スルモノハ二分ニ 槐花 生地  
黄ヲ加ヘヨ妙ナリ  
○人身ノ血ハ水ノ流ルカ如シ其下流ニ堤ヲ築キ流ヲ絶  
トキニハ河水下へ流レス上へ逆行スルナリソノ如ク身中

ニ熱鬱結スレハ口ヨリ血ヲ吐ク衄血吐血咳血モミナ同シ  
本熱鬱結スレハ 柴 芩 蒲 通 蒼 膠 門 芍 飯  
芎 梅 艸 右撰用スベシ○衄血吐血嘔血咳血唾血痰  
血ト別アレトモ熱ノ血道ヲ破テ吐ナリソノ吐ヤウノ摸樣  
ニ因テ名ツケタルモノナリミナ大寒ノ薬ヲ加味シテ用テ  
ヨシ○吐血ノモノ 奴 桃 黑 燒 白 湯 ニテ用テヨシ○嘔血  
ハ胃中ヨリ出ス 枝 子 大 芍 中 爵 金 中 右 三 味 末 苴  
汁ヲトリ 輪 廻 酒 ニ合シ右 三 味 ノ末ヲカキマゼテ用テ  
ヨシ  
○咳血ト云ハ咳シテ出ル血ニ痰マゼリ出ルコレナリ心熱  
シテ血虚スルナリ 三 色 散  
黛 中 括 仁 中 危 大 門 大 杏 小 右 末 ト シ



白湯ニ攪テ用ユヘシ

○同煎方

○唾血ハ鮮血ナリ唾ニ随テ出ルヲ云  
葉門 枝 艸 右煎未茶攪テ用テヨシ

○痰血ハ陰虛シ火盛ナルニヨリ上焦ニ氣逆上シ氣塞ルニ  
ヨツテ痰モ壅ルナリ故ニ血誘テ升リ痰ニ交リ出ス  
門 知 栢 芩

○肺痿ノ疰ニテ痰ニ膿血交リ出臭氣アラハ  
芩 栢 門 芩 芍 半 青

○諸血ノ上竅へ出ルモノハ滑石散辰砂散用テヨシ  
葉 栢 吉 杏 門 艸

○吐血脉大急ニシテ舌ノ色ヲ失フモノハ死スルナリ

○下血

○夫血ノ下ルハ大腸ニ熱アリ

芩 升 秦 芍

○下焦ニ積熱有テ下血セハ

芩 芎 栢 青

○下血諸薬ニテ驗ナク一旦治シテモ時々發スルニ脊中第  
十、四ノ推拿命門ノ穴ニ五十壯百壯灸スベシ○一切ノ下血  
ニハニ分子ニ 芎 圭 粟ヲ加ヘテヨシ滑石散用ヨ

○下血家方

牛皮燒 艾葉ノ煎湯ニテ用ヒテヨシ

○下血ニテモ吐血ニテモ内損ニヨルモノ或ハ酒ト色トラ  
スハスニヨリ或ハ心肺ノ膜破レ血氣妄行シ血泉ノ湧如ク



口鼻ヨリ出ルニモ 側栢葉焙一兩 參焙同 細末ニシテ  
用ヒヨ

○家方

荊芥 一握（手） 黑燒ニシ火氣ヲサマシ陳米煎汁ニテ三夕  
ヲ用ユニ三服ニ過スシテ自（フツカミ）愈

○痢病

○痢病赤白トモニ熱ナリ夫痢病ノ因（イ）ヲ考フルニモトヨリ  
腸間ニ積毒アル人時氣カ食（シヨク）アタリナトニツレテ下利シ腸  
間ノ毒ツレテ下ルモノナリソノ毒尤（モツキモ）ハナハタシキモノア  
リ速ニ通滯シテ毒ヲ去ルベシ

○土方

連炒一及五分 苓炒二及五分 芍炒二及  
木香

枳殼 枳 五分 煎服加減方 腹痛（ニ）飯ヲ

加フ 小便（シ）淡ルニハ滑ヲ加 嘔吐（フ）食セザルニハ石膏

陳皮 枳仁ヲ加ヘ姜汁ヲ入テ緩々（ニ）用テ胃（キ）口ノ熱ヲ去

ベシ

○氣血虚シテ痢スルモノニ分ニ陳 苓 膠ノ類（ル）ヲ加ヘテ

ヨシ ○噤口痢食物湯水モ喉（ト）ニ下ラス烏梅一匁（タ）キ碎（ク）キ

盆中ニ置水十餘碗煎（シ）入レ熱クシテ病人ヲ其タラヒノ上

ニ坐（ガ）セシメ熱氣ヲ肛門ニツキノホルヤウニ温（ア）メ則（ス）此湯ニ

テ病人ヲ洗（ア）ヘバ子フリ出ルトキ扶（タ）ケテ寢床（ド）ヘナラシメ粥湯

ヲアタフベシサテヤウスヲウカバフベシモシ食（オ）ヲ思フ氣

アラハ又粥ノ湯半碗ホトアタフベシシハラクシテ粥ヲ半

碗アタフ必ズ一度ニ多ク用ユベカラス



○同煎方

黄連 三々

人参 一々五分

水煎温メ服ス

○噤口痢ニハ秤ノオモリヲ焼紅ニシテ醋ヲコレニ洗キ病人ニ其烟ヲ嗅シムレハスナハチ胃口開ケテ飲食ス

○十メノ下ルハ腸間ノアカハ下ルナリ蕩滌シテヨシ

○痢病灸スルコトハ初ヨリ灸シテモヨケレドモ毒ヲシメ

テワルキコトアリハジメヨリヨハキト見タラハ灸シテ陽

氣ヲタスケテヨシ○當流痢病丸ハ十ハタ功アリシカレト

阿片ノ入シ丸茶ハ用ヒ時早ケレハ甚害多シ用時ノ場所ヲ

見計ラヒ痢毒大般ツキタト見タラハ痢病丸ヲ用テ治ベシ

○痢ハ利ナリト云テ通利スレハ毒去テ愈不利ナルユヘ痢

病ニ罌粟殼ノ類ノ渋リ止ルノ茶ヲ用テ多ク入ヲコロス也

コロ古方行ハレテ痢病ヲ治スルコト妙アリシカレトモ古

方ニモ手クセアリテアラシ中焦胃ノ氣ヲタノンテ毒ヲ去

ベシ○痢疾ノコト痢ノ字内経ニ見エス内経ニ腸癖ト云難

経ニハ大瘕泄ト云仲古仲景ノ時ニ滯下ト云巢氏病源候論

ニ始テ痢ノ字ヲ出セリ其病因腸胃ノ間ノ癖積ニ生ス故ニ

腸癖ト云又曰腸胃ノ間ノ積滯ヲ下ス故ニ滯下ト名ツク其

病大便快ク通スルコトアタハスシテ数十度廁ニ向フソノ

大便通利ヲ病カ故ニ利ノ字ニ疝冠ヲ加フルモノナリ

○痢ノ色ノ白キハ寒赤キハ熱タリトハ巢氏カ誤ナリト如

何トナレハ痢疾ニシテ下ルトコロノ大便或ハ白ク或ハ赤

ク或ハ黄色ニ変ジ其大便ノ形種ニ化シテ出ルモノナリ

其色ヲ変シ其形ヲ化スル者ハ熱ニヨルナリ寒ノナスコト



アタハサルモノナリ凡ソ物ノ変化スルハ熱ナリ物ノ変化  
スルコトアタハサルハ寒ナリ一切ノ痢疾下ル処ノ大便カ  
ナラス種ニ変化シテ或ハ白ク或ハ赤クアルイハ膿トナ  
リテ出ルスベテ皆熱ニヨルナリ

○痢妙功丸

クルミノサ子 巴豆ノサ子 右二色合セテ黒焼ニ  
シテ●コレホトニ丸ジニ度ニ三粒ツ、湯ニテ用ヨ

○痢病丸

連一匁 栝一匁 木香一匁 乳香三分 小豆五分  
阿片一匁 右阿片ニ水少入茶研ニテラロシ其水ニ  
テ●コレホトニ丸スコノ茶止ル心アリ痢未ニナリテ  
用ヨ

○痢病食宜

粟 麸 束 榴 乾柿 干梅 藕 牛旁

葛 鮎 青ノリ イカ イリコ ウヅラ ヒハリ 鯽

○禁食 瓜 メンルイ タケノコ 桃 ソバ 柑子

熟柿 杏 茄 大根 イモ ヒシホ 酒 鯉 エビ 鴨

雁 サギ 井ノシ、 シホ

○脉滑沉ハヨシ弦急ハ死ス下ルコト臭ノ脳髓ノコトクナ  
ルハ皆死ス

○灸 脾俞 関元 腎俞 復溜 長強 大腸俞 中腕

足三里 大谿

○泄泻

○泄泻ト云ニ色ミアレトモ脾胃ニヌメリツイテ食道不和  
ナレハ下ルナリ食物色ミ変ゼズ下ルハ寒トス○俄ニ腹泻



スルモノハ食アタリ時氣アタリノ分ナク中焦ノ不和ト  
 シテ不<sub>レ</sub>金ノ類<sub>レ</sub>虚ナルモノハ氣分ニ加減シテ用テ治セヨ或  
 ハ俄ニ下リ頓<sub>ト</sub>虚スルモノハ灸シテヨシ○中焦弱クシテ朝  
 トクニ三度下リ或ハ夜ニ一度ツ、モ夜起シ腹中調<sub>ト</sub>ラスハ  
 ニ<sub>レ</sub>子ニ飯ヲ去テ五味子 陳皮 參ヲ加ヘテ用ヨ○常ノ  
 時ハサノミ下ラスシテ食スレハ小腹痛ミ下ルニハ氣分ニ  
 枳 橘 青ヲ加ヘテ治セヨ○夏月暑熱ニアタリ煩渴シテ  
 泄<sub>レ</sub>瀉シ小便<sub>レ</sub>澀リ少クハ清暑湯ニヨシ

連 葛 扶 通 艸

○泄瀉ノモノ嘔吐ツヨク何ノ菜モウケ又ハ家方温中散ヲ  
 用テ治スルモノソ

○泄瀉ノ物茶

藥 麴 乾 艸 右細末ニシテ米飲ニテ用

○胃<sub>ハ</sub>泄<sub>ハ</sub>胃虚シテ穀化セズ黄色ニテ食物トロケス脾泄ハ  
 脾虚シテ五臟ニ分散セサルユヘニ腹ハリ嘔逆ス大腸泄ハ  
 大腸ニ寒邪アルニヨリ食後ニ腸痛ス小腸泄ハ小腸痛膿血  
 ラマシヘ下シ小便シゲシ大<sub>カ</sub>痕<sub>セ</sub>泄ハイキツミシフリ通シカ  
 タシ陰<sub>ニ</sub>茎ノ中痛ムナリ

○灸<sub>ツ</sub>脱<sub>ツ</sub>疔<sub>ツ</sub>見タラバ初ヨリ灸シテヨシ三里 氣舍 中脘  
 大腸 小腸 命 脾 命 腎 命

○脾腎泄<sub>症</sub>アリ甚ムツカシ、又疝<sub>ニ</sub>泄アリ二年モ三年モ治  
 セヌモノゾ婦人産後泄<sub>アリ</sub>甚ムツカシ、産方門ニ出ス  
 ○食物ニ心ヲツケヨ宜<sub>キ</sub>物ハ麩 枣 山椒 生姜 久シク



止サルモノ ウツラ ニハトリ コイ 用テヨシ  
○禁物 メンルイ ソバ 瓜 ナシ アユ ヒユ

○傷食

○食物ノアタルト云コトハ氣ノメグリアシキユヘナリ  
元ノ陽氣メグリスコヤカナレハ食ノアタルト云コトハナ  
レ脾胃ハ温和ナレハ何ヲ食シテモアタルト云コトナシ  
初腹痛ツヨク吐瀉モナキニ手足冷ルハ三里 脾俞ニ灸セ  
ヨ腹部ニ灸スルコト心得アルコトナリ吐瀉十キニ腹ニ灸  
スルトキハ毒物ヲシメルユヘセ又ナリ吐瀉後脱症ト見タ  
ラハ何レモ灸ニ勝ルコトナシ何ノ病ニテモ此心持肝要  
忘ニハ鍼セヨ脱症ニハ灸セヨト先生口授ノ要語ナリ  
○食停滞ノモノヲ牛角丸ニテ吐セヨ食厥ノモノ吐泄シテ

後回陽一テ大熱出レハ不金平胃或ハ虚弱ト見タラバ氣分  
加減シ用ユ吐瀉後回陽セヌモノ四逆湯附子ヲタント入テ  
用ヨ灸油断スヘカラス○停食ト見タラハヒルムシ口黒燒  
或ハ生粉ニシテ五錢白湯ニテ用ヨ○脾胃ニ物カ停ルトミ  
タラハ平胃ニ大黃ヲ加ヘテ用ヨ○病後胃弱キニ 蓮肉  
炒米各四兩 白茯苓二兩 細末ニシテ 砂糖二兩加ヘ  
一度ニ五六匙時ニ拘ハラズ白湯ニテ服ス飲食スルコトア  
タハサルモノニ用ユヘシ○食滞ニハ不金ニ加減シテ用ヨ

○咳嗽

○咳嗽ハ新久ヲ分テ治スベシニハカニ風ヲヒキツヨク咳  
セバ 葛桂紫橘湯ニ杏仁ヲ加ヘテ用ヨ肺ニ寒邪アツテ咳  
セバ 小青龍湯ヲ用テヨシ○久咳治セス声カレ胸苦シク



痰涎多ク粘ラハ肺ノ元氣ヲ補フヘシ

麦門 桔梗 欬冬 人参 甘州

○咳ハ勞ニオチヌ心得ニ療スベシ久咳ハ灸ニテ治セヨ○

咳嗽ト見ルト寒熱ノワカチナクシテ小青龍ヲ用ユ辛温ナ

ルユヘ寒ナレバズナハチ治ス誤テ熱咳ナルモノニ用ユレ

ハ膿血多ク出テ難治ノ疔トナルソレニハ二分ニ 括 麦

門 五味 膠ヲ加ヘテ用ヨ灸モ熱咳ニハ多クスヘカラス

○清肺湯 コノ茶先痰ヲ吐テ後血ヲ見ハスニ用ヨ加減ニ

ヨツテ一切ノ咳嗽ヲ治ス二分ニ木ヲ去テ 陳 芎 天

麦 苓 丹 菀 膠 棗 梅ヲ加ヘテ清肺湯ト名ツク

○久咳ツヨキモノニ生姜汁半合 蜜一匙加ヘ煎ジ用ユ

○冷哮トハ喉ニ痰ツマリセリツクナリ哮吼トモ又ハ哮喘

トモ云清晨ニ豆腐漿ヲ服シテ愈

○咳嗽膿ヲ吐クニ 知母 貝母 白芨 桔菴 各等分 研

細ニシテ毎服三匙 生姜三片煎湯ニテ茶ヲ嚙服ス三五度

ニシテ愈

○久咳脉微細数声啞スルモノ必死ナリ○婦人ノ咳痰血ヲ

吐ヤセツヨクツカレルモノ痰血ニ心ヲ付ヨ痰血心肺ヲセ

ムルモノハ治スルナリ 和否 二分 氣開方ソレク茶能

ヲ考ヘアタフベシコレ當流立方ナリ

○咳嗽灸法 紙條ヲ其人ノ兩乳頭ノ正中ノ通リヲ横ニ周

リ引圍テ前後紙條ノ上下ナク正直ナラシメテ其紙條ノア

タル処ノ脊骨中ニ灸点ス灸各五壮ヲス咳嗽ニ效アリ又

肺俞 肩井 少商 然谷 肝俞 期門 行間 廉泉 二



灸シテヨシ○食宜 生姜 蘿蔔 フキ ヒユ 枸杞 梨  
 牛旁 飴 干柿 芥子 大根 胡麻 アハヒ クラケ  
 カキ ハマクリ コイ ハム ツル ○禁物 麩 蕨  
 胡椒 イモ ユタテ 酒 コンブ  
 ○咳嗽ノ因ハ結氣喉間ニ阻核シテ壅吸コレカタメニ滯テ  
 咳声ヲ出ス名ケテ咳ト云或ハ風暑湿憂鬱ノ邪氣ヲ以テ呼  
 吸出入ノ道路肺管ヲ收束セシムルトキハ息氣ノ発ル速ニ  
 出ルコトアタハスシテ嗽声ヲナスナリ

喘急 哮喘

○凡喘急咳嗽ノ類呼吸ノ間ニ発スルモノハコトクク肺管  
 ニ因ルモノナリソレ喘急病因數ニアリテ同ジカラス肺ハ  
 皮膚ヲ主ル故ニ六淫ノ邪表ヨリシテ肺ヲ犯シ肺管ニ逼迫

シテ喘スルモノアリコレハ邪ヲ去テ病愈ルナリ○持病ニ  
 喘息スル本小兒ノ時ヨリ大人ニナツテモイヨクナララス  
 外因ノ邪ニ少シテモアタレバ持病発シクルシムモノコレ  
 ハ小兒ノ時ヨリ胎毒ノ残りアツテ持病トナルナリ胎毒肺  
 間ニアレバ時トシテ外因ニサソハレ発ルナリソノ胎毒ヲ  
 サラサレハ病愈ルコトナシ兼丸ヲ不断用テ治スルコト  
 妙ナリ持病発ルトキハニ功散ヲタマフコノ黄ミニテワカシ  
 用テヨシ  
 ○秘灸アリコヨリヲ用テ其人ノ頂ニカケテ肩ヲ傳テ胸ニ  
 タレテヲロシ兩頭ソロヘ鳩尾骨ノ尖リニテ截止メ此コヨ  
 リカヘリテヲトカイノ下ニカケテ肩ヲ傳フテ背ニタレテ  
 ヲロシ紙條ノツクルトコロニ脊中ニ灸点ス灸七壯



○桑虫丸

桑木虫 一合炒 大根实 半合炒 杏仁 半合炒 甘艸 二合  
右蒸餅糊煉胡椒大丸十粒生姜湯ニテ用

○二功散

硫黄 薰陸 右口傳

○喘ハ熱ニヨルモノ多シ 麻杏甘石湯ヨシ ○心肺ニ大熱

有テ熱スルコトヲ惡ム胸ニ熱ナキトキハ呼吸静ニシテ順

ナリ故ニ喘ヲ治スルハ胸熱ヲ去ルニアリ三黄ニ芒石

○積聚

積聚ニ色ニノ分別アリトイヘトモ氣血ノニツラハナレ  
ルコトナシ積トハ形アツテ名ツクスルハ予血積ナリ聚

ハ無形ノモノニシテ雲ノ如クアツマルモノヲ云コレ氣積

ノコトナリ他流ニハ痰積ノアルイハ蟲積ノト云テ痰飲或

ハ塊蟲ナドヲミナ積聚門ニ入テアル吾門積聚門ニハ氣血

ニツノ塊物ヲ出スニテ塊蟲或ハ痰飲ノ塊スルモノハ

此門ニハブク又五積トテソレク分ケアレトモ氣血ノアツ

マルトコロヲ五臟ニワリツケテ名ツク ○積ハ惡念ノコリ

カタマツタルモノナリハツカシキ病ト心得ヨ養生ハ心ノ

持ヤウニアリ

○心積ハ胸ニアリ 茯苓 枳 朮 夏 稜  
○肝積ハ左ニアリ 青 飯 朮 稜 蛇 石 芎  
○肺積ハ右ニアリ 烏頭 乾姜 附子 肉桂 赤石脂

山椒



○腎積ハ臍ノ下ニアリ 葛 飯 芩 芍 苓 艸  
○酒ノミノ積ヲ酒積ト名ツクコレハ飲ノ塊物ナリ故ニ飲  
病ニ出ス○茶癖コレモ飲病門ニ出ス○今ノ人積ヲモタサ  
ルハナシ故ニ氣ヲ順ラス薬ヲ主トシテ加減シテ諸病ヲ治  
スルモヨシ氣ヲメグラスト云クスリハ腸胃ヲクツロケル  
ヨリ外ニ氣ノメグルコトナシ食後ニ眠リ多シ腸胃ガフサ  
ク故ナリ腸胃フサゲハ氣メグラスユヘニ眠リ出ルナリ故  
ニ氣ヲメグラスルハ腸胃ヲクツロケルニアリ○寒ヨリ發  
ル積ニハ 莪朮 三稜ノ類ヲ氣開方ニ加ヘテ用ヨ熱ニヨ  
ルモノハ小柴胡湯氣開方合用血ニヨルモノハ血分子ニ加  
減シテ用ヨ積心下ヲ塞グモノハ黃連ト心得ヨ○積ヲ治ス  
ル心モチ中焦ノ氣虚スルニ因テ一身ノ血氣流通シナ子テ

滯リ脾胃虚ヨリシテ終ニ積トナルモノアリ氣分ニ加減シ  
テヤハラカニ治セヨ○氣積ハ無形ノ氣ナリ療治モ香氣ノ  
劑ニテ氣ヲ開ケヨ血積ハ有形ノモノナリ去滯方ニテ治セ  
ヨ○積ヲ見ルニ動氣心下ニハナハタシキハ水飲ニ心ヲ付  
ヨ○虚里ノ動甚シキハ肝膽ノ氣發生スルユヘナリ 柴胡  
青皮ヲ用テヨシ○腹診スルニ血積ハトコロヲサダメテ動  
カズ虫ハウゴク氣積ハ雲ノアツマルゴトク飲積ハ雷動ス  
ルコトツヨシ腹中兩ノ筋ハルモノハ腎氣虚スルユヘナリ  
○灸 九俞ヨリナハマテ背骨ヲハサミ灸スルコト相傳ナ  
リ 章門痞根ヨカルベシ  
○積ノコノムモノ苦味ヲ用テヨキモノアリ甘ヲ用テヲサ  
マルモノアリ熊膽ナトモカヘツテアタルコトアリ病人ニ



薬ウケノヤウスヲタツ子テ用ヒヨ

○飲病

○水飲ノ毒ニ因テ病モノハナハタ多シ渴ヲトムルハ水ナ  
リ渴セサルニ飲茶ナトスルユヘニ病トナル湯水ハ渴ヲ凌  
クノ用ト思フヘシ○酒ヲ吞コト少ケレハ津液ヲメグラシ  
気血ヲ養フテ養生ニハナハタヨクナルモノゾ過飲スレハ  
热物ナルユヘ甚津液ヲカハカシ酒後渴スルユヘ水ヲ吞飲  
病トナルモノ多シ又常ニ茶ヲスク人飲茶滞テ病トナル  
アリ又農作スル人ハタラキツヨケレハ汗ヲ発シ津液ヲカ  
ハカシテ渴シ水ヲ多クノミ或ハワキサマシトテマルト湯  
ヲノミ留滞シテ飲病トナルコトアリ○脾胃スコヤカトレ  
ハ飲病ノ煩ヒナシ中焦陽気メグラサルトキハ飲食ノ毒和

セズシテ滞テ病トナルモノナリ医書大全ニ曰頼土為之堤  
防コレ飲病ノ要語ナリ水ハ土ノ中ニアツテ土水ヲ尅ス故  
ニ土ヨリ水ヲ防ク水ハ常ニ順行ヲ貴テ壅塞ヲ嫌フ土堤防  
トナツテ水ヲトムレハ水流レズ痰濁臭穢ヲ生ス人身モ  
マタカクノ如シ津液ハ水ノゴトシ肉ハ土ノ如シ脾胃敦阜  
シテ肉間ヲ塞ケハ津液流レスシテ凝テ痰トナリ飲トナル  
敦阜トハ脾ノシトリノコトナリ○方考ニ曰稀ナレハ則チ  
飲トイヒ稠ナレバ則チ痰トイフ子ハキハ痰ウスキハ飲ト  
スコレムカシヨリ痰ト飲トヲワカツコトカクノゴトシ痰  
ト云ハ熱ニテイリツケ子バルモノナリ飲ト云ハ寒ニテ水  
飲滞リテ和通セスシテヤムモノナリ  
○医統ニ曰ク痰ハ津液之異名也トコレ誤ナリ痰ト云ハ病



ナリ津液ト云ハ甚貴キモノニシテ身ノウルホヒナリ古人  
ノ津液ヲ貴フコトハ諸書ニ出スカクノ如キ貴キ津液モ一  
元ノ氣不順ナレハ滯凝シテ痰トナル○濟世方曰人之氣道  
貴於順則津液流通決無痰飲之患○方考曰水飲入胃無非  
温化脾弱不能剋制停于膈間中下ニ焦薰蒸稠粘○痰ハ百病  
ニ加ハルモノナリ人身病アレハ津液不順スコレスナハチ  
痰トナルナリ○六飲トイヘトモソノウチ痰飲留飲コノニ  
ツ多シ○六飲トハ懸飲溢飲支飲痰飲留飲伏飲コレナリ六  
飲諸書ニ出ス考フヘシ○今世ノ病ヲ見ルニ飲病ニ因テ變  
化スルモノ多シ頭痛心痛腹痛嘔吐咳嗽下利腹脹腫滿食滯  
コレミナ飲毒ナリ又目ヲ痛メルモノ飲ノ發動ニヨルモノ  
多シ心ヲツケヨ十束湯葶藶丸如神丸ソレク用ユルニ口訣

ヲ傳フヘシ○近年飲病世ニ多シ古方ニハ茯苓飲後世ニハ  
二陳湯サテ後世ノ医ノ脾胃虚ト云テ六君ナドヲ用テ脾胃  
ヲ補フト心得ルコト非ナリミナ水飲ノ毒シメリヲトリテ  
脾胃ヲカハカスモノナリ心ヲツケヨ○金匱要畧ニ曰ク病  
痰飲者當以温茶和之カラク温ナルモノハ水ヲ逐モノナリ  
飲アルモノニハ温茶ヲ加味シテヨシ○痰飲ハ腸間ニ滯  
トシテ声アリ水飲腸中ニ滯ル所以ナリ故ニ温茶ヲ以テ小  
便ヨリコレヲ温利ス○飲病ノ脉弦ヲカ子サルハナシ○水  
飲胃口ニ停滞スレハ嘔逆ス水ヲ吞テハ吐キ茶ヲ用テモウ  
ケサルモノナリ其疝カナラス大便閉下利スレバ嘔治スル  
モノナリ

○王虎丹

諸痰飲







○素問靈樞ノ中痰ノ字ナシ仲景金匱要畧ニ始テ出タリ内  
經ニ或ハ積飲或ハ飲癸ト稱スルモノ皆痰ノ義凡痰ハ本  
ノ津ナリ頃ルトキハ津液トス滯ルトキハスナハチ痰トナ  
ル儒醫精要コレヲ釜中ノ湯ニタトフ考フヘシ  
○痰ノ因ハ鬱ナリ爵スレハ熱生シ火起リ氣滯ル氣滯レハ  
津液アツマリテ痰トナルナリ

○效逆

○呃逆本名ハ噦俗ニシヤクリト云平人常ニ噦スルモノハ  
凡人飲食胃ニ入トキ其氣上テ肺ニ注グカノ肺脾ノ間ニモ  
トヨリ寒氣アル人今アラタニ飲食スルトキハソノ新穀ノ  
氣トフルキ寒ノ氣ト俱ニカヘリテ胃ニ入テ新穀氣ト故寒  
ノ氣ト俱ニ相乱レ攻テ噦ス○シヤクリハ胃ノ虛寒ナリ温

補シテヨシ人病テ噦スルハ皆病重キノ候ナリ○常人ノ噦  
ハ胸中ニテ逆ス病テ胃ノ氣虛寒スルニ及ニテ噦スルモノ  
ハ臍上中脘ノ辺ヨリ逆ス已ニ命絶ニ臨テ噦スルモノ臍下  
ヨリ逆シテ且ツ一声ツ、遠ク逆スコレ下焦ノ陽絶スルナ  
リ必ズ死ス

○胃虚噦スルニ 橘 木 乾 圭 参 甘

一方 柿ノ実 山柝 胡升 右粉ニシテ湯ニテ用

○灸 海田ヨシ

○噦氣 附 嘈雜

○噦氣ハ俗ニ云ラクビナリ平人常ニ噦スルハ飽食ノ爵ヲ  
噦轉ス噦氣ハ胃ノ不和ナリ氣用方或ハ順氣和中湯ヨシ  
○嘈雜ハハ子ノヤケルナリカノ嘈雜ノ者ノ如キモ亦胃火

○シヤクリノチクヒ ○ムチヤケ



ノ炎上シテ胸氣熱ニ迫ルカ故ナリ是ヲ以テ饒油ケノ物ヲ食フコト過多ナルトキハ胃火コレカタメニ衝上シテ嘈雜ス某ハ氣分加減シテ用ヨ

○嘈雜ニハ ボレイノ粉 白湯ニテ用ヨ妙ナリ

○順氣和中湯

陳皮鹽 香附酥 山施姜各一錢 茯苓姜

半夏各七分 砂仁炒 甘艸炙各三分 黃連姜

白朮土八分 枳實五分 神麴六分 六分

生姜長流水入 礲泥澆澄清水煎入竹瀝姜汁温服

○食宜 コシブ 禁物 炙魚ノルイ 茶 油 餅

○吞酸

○吞酸ト吐酸ト同ジキカ如クニシテ異ナリ吐酸ハ直ニス

キ水ヲ吐出ス吞酸ハ酸氣ヲ嚙シテ酸氣心ヲ刺ノミニシテ酸水ノ口中ニ出サルモノナリ素問ニハ熱トス東垣ハ寒トス熱ニ因テ治スベシ氣開方ニ 枳 連 梔 麴ヲ加ヘテヨシ

○諸氣

○人ハ氣中ニ生ジテ氣ヲ以テ主トスタトヘバ鼻ノ水中ニ生スルカ如シ故ニ氣道順行シテ逆ナキトキハ諸病ナクシテ長命ナリ氣道一度逆スルトキハ諸疾コレヨリ發シテ氣已ニ絶スルトキハ命絶ス慎サルベケンヤソレ氣ハ無形ノモノナリ人身ノ氣ニニツアリ曰ク神曰ク形氣也神ト形氣ト其本ハ一ツノ陽氣ニシテ自ラ別アルナリ素問ニ陽氣ハ天ト日トノ如シ日ハ陽中ノ精粹ニシテ上焦心ニ舎ルモノ



ナリ形氣ハ天氣ノ如シ陽氣ノ廣ク身形ニ充テ常ニ身ノホ  
ツコリト温カナルモノナリ日ノ陽ハ天氣ニヤシナハレ人  
身ノ神ハ形氣ニヤシナハレ形氣ハ肺ニ属シテ水穀ノ氣ニ  
養ハル故ニ氣病ノ因モニツアリ神氣ノ病形氣ノ病ヲ辨ス  
神ハ人身ノ主タリ神困ハ難治形氣ノ病ハ治スベシ○一氣  
鬱滯スレバ百病生ズ一元ノ氣流行シテ発スル陽氣ハ外ニ  
発シ通下シテ滯ナケレバ何ノ病ト云コレアラシヤ外感ニ  
表ヲ閉ラレハ外ニ発スルノ陽氣鬱滯シテ熱トナルナリ  
内傷七情ノ氣鬱滯スレハ積塊トナツテ一氣流行セスシテ  
病トナル今人ノ病積塊ヨリ生スルモノ多シ故ニ吾門氣開  
方ヨリ加減シテ氣ノ鬱滯ヲ治スベシ○氣ヲ開キメクラス  
ト云ハ必竟腸胃ノ間ヲクツロケル方ナリ風ニ感セラレ

トイヘトモ腸胃ヲクツロケヨクメクラストキハ一身ノ氣  
モ亦ヨクメグルナリ故ニ風ヲサラストモ氣メグルトキハ  
ヲノツカラ邪サルノ理ナリ氣開方立方ノ大意ナリ

○氣開方  
薄荷 橘 藜 朴 茯苓 田 青 艸

○人ハ氣血ノニツヲハナールコトナシ故ニ吾門ニニ分子ト云  
モ氣血ノニツヲハナールコトナシ故ニ吾門ニニ分子ト云  
方ヲ立加減シテ氣血ノ病ヲ治ス氣開方ハ氣ノ鬱滯ヲ開ノ  
茶氣分子ハ氣虛ノ症ニ加減シテ用ヨ氣虛ト云病因ヲタツ  
ヌルトキハ脾胃ノ不メグリナリ脾胃ノメグリワルキハ何  
ユヘトヲシテミレバ水飲或ハ食毒ニテ脾胃シトリ敦阜シ  
テカハカス故ニメグリワルキナリ吾門氣分子ハ脾胃ノシ



トリヲカハカシ水湿スイシツヲ去ルノ薬ナリ脾胃ノ気スコヤカナ  
 レバー元ノ陽気メグリテ何ノ病カアラン○氣虛ノ因イシカ脾  
 胃ノフメクリト云コトハ内經ナイキキヤクニモ見エタリ考カガフベシ二分  
 子家方立方門ニ出タリ○氣ノ人ニアツテ和クスルトキハ正  
 氣トナリ和セザルトキハ邪ジャ氣トナルナリ人身ノ升降シヤウカウスル  
 モノハ氣ナリ血脉ケツミヤクノ流行リウカウスル者モ氣ナリ榮衛エイエイノ運轉ウンテンスル  
 モノモ氣ナリ○病家ニ入テ初テ病人ヲ見ルニハ一元ノ氣  
 ヲ診シスルコト專セン一ナリ脈平ハイワ和ナリトイヘトモ一元ノ氣弱ヨハ  
 キ者ハ治シカタシ一元ノ氣ヲ診シスルコトハツヨク見エテ  
 弱ヨハキアリ弱ヨハク見エテクルシカラサルアリ四知シケヲ以テ候誤ウケヒミヤク  
 へカラス○氣ヲ順メクラスルハ灸火キウカノカヲ以テ順メクラスヘシ灸  
 治口授アリ○氣ハ陽ニシテ形ナシ故ニ形アルハ血肉ケツニクヲ夕

ノンテ氣ヲ成ナスタトヘハ火ト薪カキトノ如シ一氣キ血肉ケツニクノ中ニ  
 周流シウリウシテ其神シヲナス形ハ神ノ宅タク氣ハ神ノツカハシメナリ  
 氣ノ心得ココロアシキトキハ神ヲクルシメルナリ

○疝氣センキ

○疝氣ハ厥癥寒氣盤附狼ト七種シユニ分ツトイヘトモソノ因イン  
 ヲモトムレハ一ツナリソレ疝センノ因インハ陰氣インキ内ヲメグルコト  
 不足フツシテ内傷ナイヤウ外寒ガイカンサシハサミ發ルナリ○焉エン氏シ曰ク疝ハ山積サンセキ  
 ノ義ギノ如シ男婦トモニコレアリシカレドモ今人男ノヤム  
 ヲ見テハ疝ト云婦ノ病ヲミテハ帶下タイゲト云ハ當世ノクセナ  
 リ○疝ヲ見ルニ口授クジュアリ疝ハ小腹シヤウバク和セズシテスチハリツ  
 ヨク手ニアタルコト山ノ如クシテ按オシテミレハサホト形  
 モナキナリスチハリツヨキヲ以テ心ヲツケ見ルコト習ナラヒ



ナリ疝氣ト云ハ引ツリイタムマテニテ形モナク声モナキ  
モノナリ畢丸ヨリ少腹ノ左右ヘヒキツリ痛ムモアリアル  
イハ形アリテ瓜ノ如ク声アリテ蛙ノ如クナルモアリ

○疝氣初メテ起ルニ 鳳仙花 陰干 クロクハ井 風ニ干ス  
等分燒酒ニ浸シ日ニ二三鍾服ス

○大功丸 莧藟根ヲ熱灰ニテ煨シソバノ粉等分ニ合セ  
搗勻ヘモシ鞭クハ酢ヲ加ヘソハヲ衣ニス癩疝一切ノ疝ニ  
妙ナリ

○灸可秘々々背ニ三所腹ニ二所  
○煎劑氣分ニ加減シテヨシ ○癩疝ハ陰囊大ニ腫カユカラ  
スイタマスコレ濕氣ノ受ルナリ

○癩疝秘灸 關元ノ兩旁相去ル一各三寸青筋上ニ灸スル

コト七壯ニシテ即チ愈

○囊癰

○凡ソ小腹疼ヲナシ陰莖ニ引寒多ク熱少ク好テ熱湯ヲ飲  
スナハチ疝氣ナリモシ陰囊アカク腫レ發熱シ小便赤ク澁  
内熱口カハキ墜重シテ痛ヲナス囊癰ノ候ナリ疝ヲ治ス  
ル温茶ヲ用ユヘカラス

○主方

- 川芎
- 竜胆
- 天花粉
- 芫
- 炮
- 茶

○囊癰外治要集ニ出タリ故ニ畧ス

○泄汗

○自汗トハ發汗ノ蒸ヲ用スシテヲノツカラ汗出ルナリ自



汗ノ病因ハ中焦ニ湿熱鬱滯シテ表ヲムシタテ、汗イツル  
 ナリ気分ニ芍 蚘 梅ヲ加ヘテ用ヨ ○汗スルコト多キ  
 トキハ津液ヲ亡シテ難治ノ症トナルナリコレヲ亡陽ト云  
 ○自汗 他医ノ治スルトコロ参芪湯 盗汗 當歸六黃湯  
 トサダメ自汗ハ心腎脾ノ疲レニヨルナト、理窟一テ云テ  
 参芪ヲ用テモナラヌモノハ医書ニク、ラレテナリ亡陽  
 ノ症ニ用ユル茶ヲ常ノ自汗ニ用テハ邪ヲシメテハナハタ  
 ワルシ又亡陽ニ常ノ自汗ノ茶ヲ用テハ難治トナル工夫ノ  
 ムツカシキトコロナリ凡ソ一切汗ノ出ルモノハ熱ヲ以テ  
 蒸シ或ハ陽氣ヲ以テムシ或ハ火氣ヲ以テムシ表氣ムサレ  
 テ汗出ルコトヲ得ルモノナリ ○彼紫麻ノ發汗ノ劑病人コ  
 レヲ服シテ汗カナラス出ルコトヲ得平人ノ如キ服スル

人

人



